

奥出雲町消防団（八川分団） （布勢分団）が健闘



県下の消防団の技術の向上と士気の高揚を図る、第55回島根県消防操法大会が八月七日、浜田市市の島根県立大学グラウンドで開催されました。

ポンプ車の部に十三チーム、小型ポンプの部に二十三チームが出場し、これまでの訓練の成果を発揮し、鍛えあげた消防技術を競いました。

この大会に、奥出雲町消防団を代表して、ポンプ車の部に八川分団、小型ポンプの部に布勢分団が出場しました。炎天下の中、両出場隊とも素晴らしい操法を披露、八川分団が四位入賞、布勢分団が十位と健闘しました。

八川分団 188・5点
【タイム一線56・12秒
二線68・62秒】

布勢分団 189・0点
【タイム51・78秒】

両出場隊の皆さんは、この大会に向けて、家族や地域の皆さんの支え、職場の理解のもと、約半年に亘る厳しい訓練を続けられました。選手、関係者の皆さん、お疲れさまでした。

また、八月六日、同大学講堂で行われた第六十三回島根県消防大会の席上で、本部分団の松原三美さんと阿井分団長の中西修一さんが、島根県消防協会表彰特別功績章を受賞されました。おめでとございました。

来年の「第五十六回島根県消防操法大会」は、奥出雲町での開催が決定しています。

文化力の可能性について語る大竹氏

「活力あるふるさと創生を目指して」

アフラック最高顧問 大竹美喜氏が講演



アメリカンファミリー生命保険（アフラック）日本法人の創設者で、現最高顧問の大竹美喜氏を講師に招いた講演会が七月七日、亀高温泉玉峰山荘で行われました。

講演で大竹氏は、長引く経済不況の中で、東日本大震災が発生し、企業だけが打撃を受けたと指摘。その上で、「この難局から脱却するには、新たな産業へのチャレンジ精神が必要。その基礎力として、競争力を養うための人材教育が重要だ」と説きました。また、雇用創出の重要性についても言及。

「雇用を創出するためには、地域の『文化力』を磨く必要がある。奥出雲には、神話やたたらなど世界に誇る『文化力』がある。これをいかにして産業に結びつけるかが鍵となる」と話し、これまでの見方、考え方から百八十度転換させる時期が来ていると来場者に訴えかけました。

大竹氏は、広島県庄原市出身、昭和四十九年、三十五歳でアフラック日本法人を設立し、日本で初めてがん保険の販売を開始。同社を国内最大の外資系生命保険会社に急成長させました。

自然公園指導員の佐佐木幸雄さん(小馬木) 環境省自然環境局長表彰受賞

佐佐木さんは、自然公園の保護や適正な利用を推進するボランティア「自然公園指導員」として、平成8年7月から活動されています。

船通山や吾妻山において、自然観察会や教育キャンプ、カタクリをはじめとする動植物の保護活動に尽力されています。

また、10年前から吾妻山大膳原の草原を回復するため、地元の方々とともに、除草活動にも取り組まれています。

こうした、永年に亘る活動の功績が認められ、この度の受賞となりました。



受賞した佐佐木さん(中央)

ねりんピック2011熊本 全国美術展に奥出雲町から2作品が出展



日本画「コルチカム」と作者の恩田さん

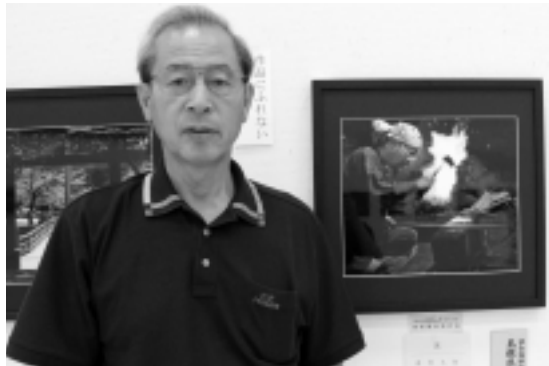


10月15日から熊本県で開催される「ねりんピック2011熊本」の美術展に、奥出雲町から日本画と写真の2作品が出展されることになりました。

出展されるのは、ユリ科の花を絶妙なトーンと深みのある色調で表現した、恩田ゆき子さん（佐白）の日本画「コルチカム」と、日本刀の刀匠が精神を集中させ、熱せられた鉄を小槌で打つ姿を写した、渡部久由さん（下横田）の写真「匠」の2作品。

両作品の全国大会への出展決定は、7月2日・3日に開催された「第23回島根県健康福祉祭シルバー美術展」において、恩田さんが島根県知事賞、渡部さんが島根県社会福祉協議会会長賞を受賞したことによるもので、恩田さんは初出展、渡部さんは2年ぶり2回目の出展です。

このような大きな美術展への出展は、作者はもちろんのこと、同じ分野で活動する同年代の人たちの励みとなることが期待されます。



写真「匠」と撮影者の渡部さん

「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」 馬木小学校が県知事賞受賞



水質を調べる子どもたち

平成二十二年度「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」において、馬木小学校が島根県知事賞を受賞しました。この調査は、宍道湖沿岸の小中学生が河川の調査を行い、水質に関する理解を深めることを目的に、宍道湖水質汚濁防止協議会が主催し、今年度は県内の小中学校二十四校とエコクラブ一団体が参加しました。

馬木小学校では、五・六年生十人が五月から一月までの約九ヶ月間かけ、学校の近くにある河川の水質や生き物などについて調査を行いました。

七月二十六日には、同小学校の六年生、才木彩さんと野原優里さんが役員仁多庁舎を訪れ、井上町長に受賞の報告を行いました。

才木さんと野原さんは「自分たちが住む地域にある川は、きれいだなと改めて思った」「いろいろな生き物が住んでいることを知りました」と話し、今回の調査を通じて、地域の自然の大切さを改めて感じていました。